

議 事 録	
会 議 名	2026年度 地域連携推進会議
開催日時	2026年6月26日(金) 9時30分から10時55分まで
開催場所	青谷学園 会議室
構 成 員	A氏（青谷学園ご利用者様） B氏（DOご利用者様） C氏（青谷学園ご利用者様家族） D氏（DOご利用者様家族） E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会） F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課） G氏（福祉・経営に知見のある人） 青谷学園施設長 小林 靖尚 DO施設長 森村 章仁
議 案	1 地域連携推進会議について 2 会議の構成員および役割 3 施設等やサービスの透明性・質の確保 （1）利用者の日常生活の様子について （2）経営状況の報告 （3）BCP(業務継続計画)の策定状況について 4 施設等と地域との連携 （1）ご意見・ご要望への対応 （2）地域行事のご案内 （3）地域連携防災訓練 （4）民生児童委員の見学 （5）地域生活支援拠点事業所登録 （6）独立行政法人国立病院機構南京都病院との連携 5 利用者の権利擁護 （1）虐待、事故等の報告 （2）支援者の様子(日頃の支援状況や研修参加状況など) （3）利用者の意向の反映 6 構成員からの報告 7 事業所内見学
議事進行	森村 章仁（DO施設長）
内 容	1 地域連携推進会議について 森村章仁（DO施設長） ・本会議は2025年度から実施を義務化されたものです。 ・障害福祉サービス事業所が増加する中、閉鎖的になりがちな入所施設やグループホームにおいて、外部の視点を定期的に取り入れることで、運営の透明性を高め、支援の質を向上させることを目的としています。 ・当法人では「青谷学園」と「DO」合同で年に1回本会議を開催し、地域に開かれた施設づくりを目指しています。 2 会議の構成員および役割 森村章仁（DO施設長） ・構成員は、ご利用者様、ご家族様、地域の関係者が必須とされており、必要に応じて有識者や行政担当者が加わります。 ・役割は、会議を通じた情報共有や、意見交換により施設への理解を深めること、および施設見学を通じて環境や運営状況を確認し、地域との架け橋となっていくことです。 3 施設等やサービスの透明性・質の確保 小林靖尚（青谷学園施設長） ・青谷学園のご利用者様の平均年齢は約56歳ですが、90代から20代まで幅広い年代の方が生活をされています。また、20名近くの方が車いすを利用されており、高齢化とADL低下への対応が課題となっています。

- ・2月にシャワーチェアをはめ込むタイプの最新型の特殊浴槽を導入し、負担の少ない座った姿勢での入浴が可能となりました。ご利用者様からも好評を得ています。

B氏（DOご利用者様）

- ・仲の良い人が使っていますが、「気持ち良い」と話していました。前のモノよりも良いと思う。

小林靖尚（青谷学園施設長）

- ・日々の充実のため、eスポーツ大会や、ファッションセンターしまむらによる出張販売「しまさぼ」など、若い世代も楽しめるイベントを開催しました。

森村章仁（DO施設長）

- ・DOには中軽度の方が多く、自発性を尊重した支援を行っています。高齢化に伴い、車いす利用の方が7名いらっしゃいます。
- ・現在、大規模修繕工事をしており、2026年12月に完了します。居住エリアの制限や入浴時の青谷学園への移動などでご不便をおかけしていますが、職員が一丸となって丁寧な支援を行っています。
- ・経営状況は、2025年度の事業収入は法人全体で前年度比1.25%増と堅調です。大規模修繕中ですが、預金残高は年間収入の30%以上あり、極めて健全かつ安定した経営状態です。
- ・BCPでは、災害および感染症の2つの計画を策定しています。災害時のBCPでは通信インフラが停止しても行動内容を確認できるように、全職員に貸与しているスマートフォンの「keepメモ」を利用する体制を整えている。

4 施設等と地域との連携

森村章仁（DO施設長）

- ・苦情や要望について、昨年度、近隣の方から苦情はありませんでした。
- ・社会貢献について、継続的な献血運動を実施しています。今年度は6月27日と11月7日に行います。11月は施設公開も併せて行います。
- ・昨年度は、近隣の民生児童委員の方がたくさん見学に来られました。地域の方に法人や施設のことを知ってもらえる良い機会となりました。
- ・地域とのつながりについて、2月に障害者アート展「NAND“A”RT展」を開催しました。3日間で約300名が来場する地域密着のイベントとなっています。
- ・地域連携防災訓練を年1回実施しています。自治会、消防団、消防署と合同で行う大規模な訓練です。地域一体となって防災力向上に努めています。

F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課）

- ・事業所が主体的に地域住民と合同で避難訓練を企画するところは、他に聞いたことがありません。

E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会）

- ・法人として地域の自治会に加入しているところは、自治会が行う避難訓練に職員とご利用者様とで参加するのは聞いたことがあります。

森村章仁（DO施設長）

- ・2026年4月1日付で、城陽市の地域生活支援拠点事業所に登録されました。相談や緊急時の受け入れなど5つの機能を担うことになります。
- ・病院連携について、2026年5月19日に、南京都病院と感染症対策の連携協定を締結しました。平時の実地指導や、有事の相談体制が強化されました。

5 利用者の権利擁護

小林靖尚（青谷学園施設長）

- ・青谷学園では、昨年度、虐待はありません。ご利用者様の事故は、骨折6件、異食による緊急手術3件が発生しています。いずれも行政へ報告しています。
- ・職員への研修では、「スピーチロック」という言葉による行動制限に関する動画研修を実施しました。「どこに行かれますか」という丁寧な声掛けも、タイミングによっては監視や行動制限になり得るとの気づきを共有しました。
- ・ご利用者様からの「天ぷらうどんが食べたい」という声に応えて、大ホールで青谷製麺の「天ぷらバイキング」イベントを開催しました。この他、回転寿司やプールなどの外出企画、パンバイキングの人気ランキングを実施しています。

森村章仁（DO施設長）

- ・DOも、昨年度、虐待はありません。事故は接触や転倒による骨折が2件発生しており、行政に報告しています。
- ・身体拘束ゼロを維持しています。
- ・独自チーム「ゴエンジャー」による誤嚥予防研修を定期的に開催し、安全な食事提供に取り組んでいます。
- ・ご利用者様の希望を反映した白浜旅行や、「赤福餅を買いたい」という個別の願いには、ガイドヘル

	パー活用により実現しています。また、日中サービスのみのご利用者様からの希望があり、宇治市役所でのリサイクル自転車販売に参加されました。 6 構成員からの報告 C氏（青谷学園ご利用者様家族） ・個別の外出で利用するガイドヘルパーは外部の方ですか？ 森村章仁（DO施設長） ・外部の方です。費用は個人の負担となります。施設が提供するグループ外出では難しい要望には、このように対応しています。 ・ご利用者様から何か意見はありますか？ A氏（青谷学園ご利用者様） ・ありません。 B氏（DOご利用者様） ・旅行に行きたい。 森村章仁（DO施設長） ・6月に行きましたね。また企画しますので良ければ申し込んでください。 G氏（福祉・経営に知見のある人） ・56歳という平均年齢は、それほど高齢化という印象は受けませんが、20代から90代という幅広い年代へのサービス提供は困難さもあると感じました。 ・高齢化の中で安全安心を守ることは当然求められますが、利用者にとっては安全であることは当たり前で、「楽しく暮らしたい」という願いが本音ではないのでしょうか。安心安全と意思の尊重は相反する部分もあるだろうが、楽しく生活できる場所であってほしいです。 F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課） ・他の事業所でも同様の会議が始まっているので、行政としても協力していきたいと思います。 E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会） ・スピーチロックについて聞き、余裕を持った支援の大切さを感じました。専門職として気をつけてくれていると思いますが、日常の介護にも活かせる視点です。 議事進行役から、質問や意見がないか尋ねられましたがありませんでした。
事業所内 見学	7 事業所内見学（10時15分～10時55分） 改修工事中のDOをC氏（青谷学園ご利用者様家族）、D氏（DOご利用者様家族）、E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会）、F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課）、G氏（福祉・経営に知見のある人）が見学され、森村章仁（DO施設長）が案内しました。 青谷学園をC氏（青谷学園ご利用者様家族）、D氏（DOご利用者様家族）が見学され、小林靖尚（青谷学園施設長）が案内しました。他の参加者の方は頻繁に青谷学園の事業所を見学されているので、今回は見学の希望はありませんでした。 〈青谷学園の感想〉 D氏（DOご利用者様家族） ・（青谷学園は）2012年に建てられたとは思えないほど、綺麗で清潔な環境が整っています。天井が高くなっているので広々とし開放感があります。 〈DOの感想〉 C氏（青谷学園ご利用者様家族） ・（DOは）部屋が広く、過ごしやすそうで非常に良い印象を受けました。 ・2階、3階の部屋の壁紙がそれぞれ異なっており、とてもおしゃれです。 E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会） ・DOは改修工事によって設備が新しくなり、ご利用者がとても過ごしやすくなると思います。 ・照明の調光調色機能や、ベッドが大きいことは、すごく良いと思います。 ・作業棟の作りがおしゃれで、館内の絵画展示も非常に素晴らしいです。 F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課） ・作業棟の天井の絵が素敵でした。 ・初めて見学させていただきましたが、皆さん素敵な絵を描かれているのですね。 ・Cafeではご利用者様がしっかり活躍されており、大変良い取り組みだと感じました。
次回の 開催予定	次回の開催 日時 2027年6月 未定（6月の評議員会前に開催）